

自治体・協議会名	豊田市公共交通会議
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・「おでかけパス70」の販売促進、新高校生や転入者向けの公共交通関連情報の提供や利用促進など、積極的に多様な取組を実施し、利用の底上げに努められていることを評価します。
- ・利用促進などの各取組に際しては、商業施設や地元団体などとの連携を図り、なるべく事業費を抑えることにも留意しながら公共交通利用のきっかけ作りに取り組まれていることを評価します。
- ・GTFSデータをオープンにすることにより、利便性を向上させたことを確認しました。
- ・稲武地域バスにおいては、高齢者の利用の増加のため、バス停の新設を行い、藤岡地域バスについては普段利用しない方に対しても時刻表の配布等利用促進を行ったことを評価します。

期待する取組

- ・これまでの取組に係る分析や考察から得られた課題に対し、今後の取組方針に沿いながら関係者と連携して取り組むことを期待します。
- ・サイクルラックバスについては、自転車に興味の方々のコミュニティや立ち寄り場所へのPRなど、引き続き周知に工夫されることを期待します。
- ・地域バスについては、市域が広く地域によって様相に違いがあるため、引き続き、利用状況や地域住民の意見等を分析・考察し、今後の取組に向けた検討が進められることを期待します。
- ・みよし市との連携による事業者路線の利用促進などについても検討されることを期待します。
- ・地域間幹線系統である大沼線の輸送量が補助要件基準の15人に近いことから、引き続き、現状の把握に努めるとともに、関係する岡崎市と連携して利用促進を図るよう期待します。